



かめるをたしかめる
臨床非営利活動法人
日本顎咬合学会



Newsletter

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

97

2025.12.25



2026年6月13日(土)～14日(日)に、第44回日本顎咬合学会学術大会・総会が東京国際フォーラムで開催されます。本大会のテーマは、「歯科臨床の羅針盤 —顎咬合学—」と致しました。歯科臨床の水先案内人として皆様に顎咬合学の原点に触れて頂きたく、鋭意準備を進めております。

特別講演第1部で招聘する Jonathan H Do 先生はアメリカ歯周病学会専門医として、また長く UCLA 歯周病学講座教員として臨床、教育に従事し、現在サンディエゴで歯周病とインプラント治療に特化した診療をしながら、患者教育、予防、質の高い治療を世界の歯科医師、歯科衛生士に伝えています。今回、インプラントにおける生物学的合併症に関する新概念と歯周外科治療の最前線、および米国での歯周治療における歯科医師と歯科衛生士の協働等について2日間にわたり3つのセッションで講演して頂きます。

特別講演第2部では東京大学名誉教授の秋山弘子先生を座長に迎え、超高齢社会における歯科医療の新たな可能性について、臨床の現場からの提言を歯科医師、歯科衛生士から行ってまいります。

その他2日間にわたり、顎咬合学に関連する補綴、矯正、インプラント、歯周病、歯内療法、咬合育成、デジタル歯科、う蝕学、訪問歯科等々の各領域に30以上のプログラムを用意しております。歯科医療従事者が携わる治療の多くは小児から高齢者までのどの世代でも咬合の安定、回復、維持を目指すことになります。そのために多彩なプログラムを用意しました。また昨年に続きパネリストが症例を提示して会場の皆様と共にディスカッションができるパネルディスカッションのプログラムもあります。展示ホールで行われる本会特有のプログラムであるテーブルクリニックでは、日々の臨床に即したテーマが目白押しで、演者と直接、質疑応答のやり取りが出来ます。演者の臨床ケースを基に選定する器材・器具やテクニカルワークを知れる絶好の機会です。また、予約制ではありますが実習形式のハンズオンをリーズナブルな参加費で受講出来るように企画しました。今回は外科(切開、縫合)、予防充填、MTM、筋機能矯正がテーマです。認定医の方優先の認定教育セミナーでは歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の各部屋で咬合器を使った実習を始め、咬合に関する実習や実技のプレゼンを準備しています。

2日間とも賛助会員協賛のランチョンセミナーがありますので昼食時にも有効に研鑽の時間として下さい。展示会場では90社を超える賛助会員の出展があります。各社の新しい機器や材料等の情報が盛り沢山となっております。フリードリンクの休憩コーナーも設置しておりますので是非、いらしてください。

研修医・学生の皆様は無料ですので是非参加して頂き、自分の進路・未来を考える機会として頂ければと思います。

事前登録が必要ですが今回も参加無料の Exhibition Pass (企業展示ホール入場可能) と Family Pass (発表者・受賞者の家族限定) という特別参加パスを準備しました。詳細は大会 HP をご覧ください。

日本顎咬合学会は臨床に携わる歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士のための研鑽の場となる大会となることを目的としています。学会に参加して臨床力を高めて、来院される患者さんにフィードバックされることを願っています。もう1つ学会会場はこの研鑽の場だけでなく歯科医療関係者の人と人との繋がりを得る場でもあります。参加して頂ければ必ず何かが得られると思います。役員、大会事務局一同、皆様の来場を心よりお待ちしております。



check

プログラムの詳細は「第44回日本顎咬合学会学術大会・総会」特設ページにてご覧いただけます！！

URL : <https://www.nichigaku.site/programs>



QRコード

事前参加登録のご案内

■ 事前参加登録方法 オンラインのみ

■ 事前参加登録期間

早割料金	2025年12月1日(月)～2026年4月15日(水)
通常料金	2026年4月16日(木)～2026年5月13日(水)

■ 決済方法

● クレジット決済・コンビニ決済

- ・3Dセキュア2.0 (本人認証サービス) 未対応のカードの場合はご利用いただけません。
- ・支払期日は登録期日と同日です。コンビニ決済をご希望の方はお早めにご登録ください。支払期日を過ぎますと、その登録は無効となります。



早割会員参加登録
QRコード

参加カテゴリー		【早割料金】	【通常料金】
会員	歯科医師	25,000円 (不課税)	27,000円 (不課税)
	歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手・研究者等	11,000円 (不課税)	12,000円 (不課税)
非会員※1	歯科技工士・歯科衛生士	15,400円 (税込)	16,500円 (税込)
	歯科助手・研究者等	12,100円 (税込)	13,000円 (税込)
準会員※2	臨床研修医・学生	無料	
非会員	臨床研修医・学生	無料	
賛助会員※3	賛助会員企業の皆様	5,000円 (不課税)	

※1 非会員の参加費には消費税が含まれます。

※2 準会員とは、学生及び臨床研修医及び大学院生(社会人大学院生は除く)を対象とした会員制度です。

※3 賛助会員企業の皆様も学術大会聴講者としてご参加いただけます。

特別参加枠
Family Pass/Exhibition Pass 登壇者のご家族や会員歯科医師の施設に所属するスタッフ様向けに、昨年に続き、Family Pass、Exhibition Passを設けました。 無料でご参加できますので、この機会にぜひご参加ください。 ※入場は一部のエリアに限られています。 詳しくは学術大会WEBサイトをご参照ください。
Family Pass 対象者: 依頼講演登壇者、テーブルクリニック登壇者、会員発表者、各賞受賞者のご家族
Exhibition Pass 対象者: 会員歯科医師が開業もしくは勤務する施設に従事する歯科スタッフ

【注意事項】上記の参加カテゴリーに該当しない方は参加できません。また、お支払い後の返金はできませんのでご注意ください。

咬み合わせ指導医・咬み合わせ認定医へのご案内

咬み合わせ指導医・咬み合わせ認定医は、認定期間中(5年間※)に認定教育講演を1回以上受講する必要があります。

※2022年7月1日以降の更新時より適用です。

会場内にて開始時と終了時に出席をとります。遅刻および途中退場は認められませんのでご注意ください。

2026年度認定教育講演

下記のいずれかのプログラムを受講してください。

- プログラム1 2026年6月13日(土) 9:40～11:50【ホールC】

咬み合わせ認定医/認定歯科技工士/認定歯科衛生士を目指す方へのご案内

■ 咬み合わせ認定医を目指す方へのご案内

【条件】日本顎咬合学会会員歴3年以上、歯科医師免許取得後4年以上、且つ顎咬合学およびこれに関連する領域の歯科臨床に4年以上従事していること(2022年4月1日時点で歯科医師資格を取得していること)

上記の条件を満たしている方には、12月下旬頃に認定試験(4月に実施予定)に関するご案内を送付いたします。

■ 認定歯科技工士を目指す方へのご案内

【条件】日本顎咬合学会会員歴3年以上、臨床歴4年以上(2022年4月1日時点で歯科技工士資格を取得していること)

上記の条件を満たしている方は、第44回日本顎咬合学会学術大会・総会に参加し、「認定研修Ⅰ(歯科技工士向け)」を受講することで、認定試験(※2027年4月実施予定)の受験資格を得られます。2027年度認定試験に関するご案内は、2026年12月下旬にお知らせいたします。

認定研修Ⅰ(歯科技工士向け)

下記のいずれかのプログラムを受講してください。

- プログラム16 2026年6月14日(日) 9:15～12:00【ホールD5】
- プログラム26 2026年6月14日(日) 13:30～16:30【ホールD5】

会場内にて開始時と終了時に出席をとります。遅刻および途中退場は認められませんのでご注意ください。

■ 認定歯科衛生士を目指す方へのご案内

【条件】日本顎咬合学会会員歴2年以上、臨床歴2年以上(2024年4月1日時点で歯科衛生士資格を取得していること)

上記の条件を満たしている方は、第44回日本顎咬合学会学術大会・総会に参加し、「認定研修Ⅰ(歯科衛生士向け)」を受講することで、認定試験(※2027年4月実施予定)の受験資格を得られます。2027年度認定試験に関するご案内は、2026年12月下旬にお知らせいたします。

認定研修Ⅰ(歯科衛生士向け)

下記のいずれかのプログラムを受講してください。

- プログラム5 2026年6月13日(土) 13:30～16:30【ホールB5】サテライト会場【ホールC】
- プログラム25 2026年6月14日(日) 13:30～16:30【ホールB5】サテライト会場【ホールC】

会場内にて開始時と終了時に出席をとります。遅刻および途中退場は認められませんのでご注意ください。

講演プログラム

Dr. 歯科医師 DT 歯科技工士 DH 歯科衛生士 DA 歯科助手 プログラムは、11月28日現在の内容です。

13 土	ホールC		パネルディスカッションプログラム						
	9:15~9:40 (25分) 開会式・表彰式	9:40~11:50 (130分) 特別講演(認定教育講演) 1 歯周治療&介護・高齢者関連 Jonathan H Do 座長: 金沢 紘史・俵木 勉 秋山 弘子 藤井 元宏 藤井 みずき 鄭 繼祥 座長: 秋山 弘子 [Dr, DT, DH]	<p>パネリストの症例を通し、会場も巻き込んだ熱いディスカッションにご期待ください。</p> <p>プログラム14 アライナー矯正の可能性と今後の展望 6月14日(日) 9:15~12:00【ホールB7(右-2)】</p> <p>プログラム17 カリオロジー原因論から予防まで 6月14日(日) 9:15~12:00【ガラス棟G701】</p> <p>プログラム24 遊離端欠損を克服する 6月14日(日) 13:30~16:30【ホールB7(右-2)】</p>						
午前		ホールB7左側	ホールB7(右-1)	ホールB7(右-2)	ホールB5				
		12:10~13:00 (50分) ランチョンセミナー インビザライン・ジャパン合同会社 長谷川 雄一	12:10~13:00 (50分) ランチョンセミナー 株式会社アルタデント 貞光 謙一郎		12:10~13:00 (50分) ランチョンセミナー 株式会社メガジェンジャパン 林 揚春				
	13:30~16:30 (180分) サテライト会場 ホールB5サテライト	13:30~16:30 (180分) 歯周外科治療 2 plastic surgery Jonathan H Do 座長: 関野 愉 [Dr, DH]	13:30~16:30 (180分) インプラント潮流 3 咬合再建のための ボーンマネージメントと インプラント 森本 太一郎 中山 隆司 寺西 邦彦 金山 健夫 座長: 中山 隆司 [Dr, DT]	13:30~16:30 (180分) 移植・再植 4 補綴前処置としての 移植・再植を考える 飯田 倫太郎 竹中 崇 松井 宏榮 溝淵 隆宏 座長: 田代 剛 [Dr]	13:30~16:30 (180分) DH・Drプログラム 5 認定研修1 (DH) 「口腔機能不全を予防する」 健全な口腔機能の 発育、維持のために 井上 美津子 上田 秀朗 安藤 壮吾 座長: 藤本 和泉・小川 直子 [Dr, DH]				
午後									

14 日	9:15~12:00 (165分)		9:15~12:00 (165分)		9:15~12:00 (165分)		9:15~12:00 (165分)	
	サテライト会場 ホールB5サテライト	咬合学 12 長期症例から考える 顎位診断の重要性 (下顎位偏位に対する顎位治療の実際) 太田 祥一 行田 克則 本多 正明 座長: 金沢 紘史 [Dr, DT]	歯周再生医療 13 咬合再建のための 歯周再生医療 林 丈一郎 村辺 均 木村 英隆 座長: 村田 雅史 [Dr, DH]	アライナー矯正と咬合 14 アライナー矯正の可能性と 今後の展望 高津 充雄 岡野 修一郎 筒井 武男 ■パネルディスカッション パネリスト: 阿部 公成 座長: 筒井 武男 [Dr]	DH・Drプログラム 15 歯周治療における 歯科衛生士の役割 Jonathan H Do 座長: 鍵和田 優佳里・ 小林 明子 [Dr, DH]			
		12:20~13:10 (50分) ランチョンセミナー インビザライン・ジャパン合同会社 濱 克弥	12:20~13:10 (50分) ランチョンセミナー 株式会社ヨシダ 草間 幸夫					
サテライト会場 ホールB5サテライト	13:30~16:30 (180分) 咬合学 22 後世に受け継ぎたい 咬合の教え 西川 洋二 小出 馨 佐藤 貞雄 座長: 難波 鎌久 [Dr, DT]	13:30~16:30 (180分) 補綴・矯正 23 咬合再建のための 矯正学的アプローチ 補綴前矯正 青木 義親 高島 浩二 中島 稔博 米澤 大地 座長: 中島 稔博 [Dr, DT]	13:30~16:30 (180分) 可撤性義歯 24 遊離端欠損を克服する 齋藤 善広 鷹岡 竜一 亀田 行雄 ■パネルディスカッション パネリスト: 石尾 知亮 座長: 亀田 行雄 [Dr, DT]	13:30~16:30 (180分) DHプログラム 25 認定研修1 (DH) 歯科衛生士が学ぶ咬合学/ 病態学・画像読影等 塚崎 雅之 富野 晃 野田 和秀 座長: 上野 順子 [DH]				
午後								

テーブルクリニック 会場:地下2階【ホールE】

	13 土		14 日	
	セッション1 13:30~14:30 (60分)	セッション2 15:00~16:00 (60分)	セッション3 9:30~10:30 (60分)	セッション4 11:00~12:00 (60分)
テーブル1	ペリオの基本治療 清水 太郎	総義歯 安達 隆帆	圧搾 奥村 暢旦	エンド 山内 真人
テーブル2	小児矯正 安岡 大介	LOT 河村 篤志	顎関節 矢野 圭介	歯周補綴 小林 英史
テーブル3	補綴物形態 藤本 光治	補綴物管理 吉木 雄一朗	口腔育成 井上 敬介	咬合学 長阪 信昌
テーブル4	DTプログラム 長谷川 篤史	DTプログラム 杉山 雅規	DTプログラム 足立 茂	DTプログラム 下郡 綾子
テーブル5	義歯 田中 譲治	訪問 寺本 浩平	デジタル診断 谷尾 和正	AI
テーブル6	株式会社モリタ 渡辺 理平	株式会社モリタ 島田 淳	株式会社ヨシダ 河阪 幸宏	株式会社プロシード 大谷 淳二
テーブル7			科研製薬株式会社 関野 愉	株式会社ヨシダ 指宿 隆秀

※公開フォーラムは現在検討中です。また、他のプログラム内容および登壇順につきましても、変更になる場合がございます。最新情報はHPをご確認ください。



Dr. Jonathan H Doのご紹介

Dr. Doはアメリカ歯周病学会専門医の称号を持ち、2015年まではUCLA歯学部で教員として、その後は、サンディエゴで歯周病とインプラント治療に特化した診療をしながら、患者教育、予防、質の高い治療を世界の歯科医師、歯科衛生士に伝えています。今回、歯周外科治療最前線、米国でのDHとの協働等についての講演を予定しています。



- プログラム 1 特別講演 (認定教育講演) 6月13日(土) 9:40~11:50 【ホールC】**
- プログラム 2 plastic surgery 6月13日(土) 13:30~16:30 【ホールB7左側】**
- プログラム15 歯周治療における歯科衛生士の役割 6月14日(日) 9:15~12:00 【ホールB5】**

ホールD5	ガラス棟G701	ガラス棟G502	ガラス棟G510	セミナー室1	セミナー室2
12:10~13:00(50分) ランチョンセミナー DGSHAPE株式会社 小池 軍平			12:10~13:00(50分) ランチョンセミナー Haleonジャパン株式会社 黒岩 昭弘		
13:30~16:30(180分) DT・Drプログラム 6 デジタルデンチャーの現在 亀遊 宏直 鈴木 啓太 石川 航生 今田 裕也 座長: 前川 泰一・中村 翼 Dr. DT	13:30~16:30(180分) 咬合学 7 咬合再建のための力のコントロール 一歯周病と咬合一 相宮 秀俊 村田 雅史 渡辺 隆史 座長: 渡辺 隆史 Dr. DT DH	13:30~16:00(150分) 支部選抜発表 8 若手歯科医師の登竜門 審査員長: 松崎 浩成 審査員: 石川 忠・上野 道生・菅野 博康 座長: 須呂 剛士 Dr.	13:30~16:30(180分) 医院経営 9 医院マネージメント 櫻井 健次 濱 克弥 横山 敏秀 座長: 濱 克弥 Dr. DH DA	13:30~16:30(180分) 10 〈調整中〉	13:30~16:30(180分) 11 認定教育セミナー 認定歯科医師 平井 順・岸本 英之 定員: 12名 受講料: 9,000円 (不課税) 事前申込制 (4月1日※より) ※会員歯科医師に限る Dr.

9:15~12:00(165分) DT・Drプログラム 16 認定研修 I (DT) 義歯は生活を活性化させる医療 越智 裕文 吉田 衛司 疋田 涼・木村 真亜也 今井 美恵 座長: 松岡 金次・西尾 拓郎 Dr. DT	9:15~12:00(165分) 17 う蝕学 カリオロジー原因論から予防まで 花田 信弘 竹内 一貴 杉山 精一 ■パネルディスカッション パネリスト: 寺岡 徳光 座長: 寺岡 徳光 Dr. DH	9:15~12:00(165分) 18 若手歯科医師に贈る診査の心得 ペリオ、咬合、インプラント 谷口 威夫 林 美穂 月岡 庸之 南 清和 座長: 林 美穂 Dr.	9:15~12:00(165分) 19 高齢者歯科・訪問歯科 実践! 高齢者の口腔機能の維持・管理 ~診療室・訪問診療での各対応~ 西田 哲也 岩崎 真士 中尾 祐 座長: 鈴木 宏樹 Dr. DT DH	9:15~12:00(165分) 20 メーカーシンポジウム 株式会社メディカルネット 勝部 義明 貞光 謙一郎 石井 貴久 座長: 松延 允資 Dr.	9:15~12:00(165分) 21 認定教育セミナー 認定歯科衛生士 加々美 恵一・俵木 勉 定員: 20名 受講料: 3,000円 (不課税) 事前申込制 (4月1日※より) ※会員歯科衛生士に限る DH
12:20~13:10(50分) ランチョンセミナー カポブランメカジャパン株式会社 貞光 謙一郎	12:20~13:10(50分) ランチョンセミナー 株式会社モリタ 加藤 真悟	12:20~13:10(50分) ランチョンセミナー 株式会社松風 天野 敦雄	12:20~13:10(50分) ランチョンセミナー 株式会社松風 天野 敦雄		
13:30~16:30(180分) DT・Drプログラム 26 認定研修 I (DT) デジタル時代に若手技工士が考える"咬合"とは 花岡 太志 師玉 大志 酒井 美穂 中村 翼 座長: 納原 功二・高瀬 直 Dr. DT	13:30~16:30(180分) 27 歯内療法 エンド温故知新 天野 晃 松永 健嗣 松木 良介 岡口 守雄 座長: 岸本 英之 Dr.	13:30~16:30(180分) 28 MI MI修復の到達点 野島 慶訓 遠山 敏成 大谷 一紀 座長: 飯田 真也 Dr.	13:30~16:30(180分) 29 小児歯科 機能と形態そして咬合-口腔機能と咬合育成- 森川 和政 高橋 昌司 増田 純一 座長: 権 暁成 Dr. DH	13:30~16:30(180分) 30 リカバリー トラブル回避・リカバリー 倉富 寛 佐藤 孝弘 松延 允資 黒岩 昭弘 座長: 松延 允資 Dr.	13:30~16:30(180分) 31 認定教育セミナー 認定歯科技工士 佐藤 幸司 定員: 16名 受講料: 5,000円 (不課税) 事前申込制 (4月1日※より) ※会員歯科技工士に限る DT

セッション5 13:30~14:30(60分)	セッション6 15:00~16:00(60分)
ペリオ 神山 剛史	補綴主導型インプラント 小林 友貴
ホワイトニング 新妻 由衣子	総義歯 鈴木 英史
口腔機能 内藤 和美	感染対策 佐野 喬祐
DTプログラム 佐藤 文昭	DTプログラム 小澤 謙太
咬合 菅野 詩子・牧 宏佳	医科歯科連携 宇根岡 大典
カポブランメカジャパン株式会社 岩田 光司	株式会社RAY JAPAN 阿部 公成・柏木 了
株式会社ジーシー	

有料ハンズオン 地下2階【ホールE】 有料ハンズオンエリア 事前申込制/有料

歯科臨床に役に立つ実践的な実習形式のハンズオンセミナーを企画しました。様々な分野での臨床手技のノウハウを見て聴いて触れて試してみてください。

- 小川 洋一 「外科 切開・縫合」 6月13日(土) 13:30~16:30
- 土岐 志麻 「予防充填 (DH向け)」 6月14日(日) 9:15~10:15
- 大石 暢彦 「筋機能矯正」 6月14日(日) 10:45~11:45
- 松崎 浩成 「臨床にすぐに役立つMTM」 6月14日(日) 13:30~16:30

お問い合わせ
特定非営利活動法人日本顎咬合学会 学術大会事務局
Mail: gakujuitsu@ago.ac (平日10:00-17:00)



詳細は学術大会WEBサイトをご覧ください▶

2025 年度 咬み合わせベーシックセミナー

開催・参加登録受付のお知らせ

対象者 認定医および認定医を目指す一般会員歯科医師

セミナー概要 【ビデオ講義】（ビデオ講義のみの受講はできません）
【実習内容】

①咬合採得 ②フェイスボウ ③上顎模型マウント
④咬合採得記録トリミング ⑤下顎模型マウント ⑥咬合診査

認定単位 10 単位、受講証明書の発行

定員 各地 10 名

受講料 33,000 円（税込み）

時間 10:00～16:50

2025 年度「咬み合わせベーシックセミナー」スケジュール

支部 / 開催地	開催日	申込期間
北海道支部 和田精密歯研 札幌営業所	2026 年 3 月 15 日（日）	(2026 年) (2026 年) 1 月 5 日～2 月 28 日
中部支部 愛知学院大学歯科技工専門学校	2026 年 2 月 1 日（日）	(2025 年) (2026 年) 11 月 20 日～1 月 16 日
近畿・中国・四国支部 新大阪歯科技工士専門学校	2026 年 3 月 1 日（日）	(2025 年) (2026 年) 12 月 20 日～2 月 16 日

- ・お申込み完了後、「タイムスケジュール（簡略版）」および「模型作成手順書」をお送りいたします。
- ・ご自分の上下顎歯列模型を、手順書に則って作成し、セミナー当日、必ずご持参ください。
（模型をお忘れになりますと、実習にはご参加いただけず、単位付与・受講証明書発行もありません）
- ・参加登録後のキャンセルはお受けいたしかねます。また、ご入金いただきました受講料の返金もいたしかねます。予めご了承ください。
- ・ご自身所属の支部会場で日程のご都合がつかない方は、他の会場でも受講いただけます。

参加登録方法



事前参加登録のみ。

左記のQRコード、または、ホームページ「咬み合わせベーシックセミナーの開催・参加登録受付のお知らせ」よりお申込ください。

2025 年度 第 13 回指導医研修会

会場 東京国際フォーラム ホール D5
東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

テーマ 歯科医療のパラダイムシフト ～再生医療、デジタルデンティストリー、歯科における AI～

日時 2026 年 2 月 15 日（日） **申込締切** 2026 年 1 月 23 日（金）

講師



岩田 隆紀 先生

東京科学大学 生体支持組織学講座
歯周病学分野 教授



勝又 明敏 先生

朝日大学 教授



千葉 豊和 先生

南 2 条千葉歯科クリニック
（北海道開業）

対象者 指導医・指導歯科技工士・指導歯科衛生士

2025 年度 支部学術大会の総括

10月5日に関東甲信越支部と近畿・中国・四国支部から始まった2025年度の全国6支部学術大会も、11月30日の九州・沖縄支部をもって無事に終了いたしました。開催にあたって大会テーマやプログラムの作成、会場の手配などの準備を進め、当日も滞りなく大会の運営をしてくださいました支部長、副支部長ならびに支部役員の皆様には心よりお礼を申し上げます。

今年度の参加者数ですが、6支部合計の会員参加者数が**854**名、非会員参加者数が**288**名で、合計が**1,142**名となりました（展示等の協賛企業数は**93**社）。

今回、支部委員長として各支部の学術大会を視察してまわったのですが、テーマの選定やプログラムの内容に各支部の特徴があり、運営に関しても、それぞれの支部に個性のあることがわかりました。他支部の学術大会でもぜひ取り入れたらよさそうだと思うものにも気づけましたので、それらを全支部で共有できたらと考えています。もちろん、上手くいかなかったことや改善しなければならない点もあったと思いますので、それらをしっかり考察し、来年度以降の大会に活かしていきます。

そして、各支部をまわってみて何よりも嬉しかったのが、支部の先生方の本会に対する熱量を実際に感じる事ができたことです。支部の皆様と顔を突き合わせて話をしていると、支部学術大会をよりよいものにしたい、若い会員をもっと増やしていきたいという思いがひしひしと伝わってきましたし、それぞれの地域性の中で現状を分析しつつ、どうしたらそれらが達成できるかの具体的なアイデアをたくさんお持ちであることもわかりました。

さらに魅力のある支部学術大会を目指して、また、活気のある支部から日額全体を盛り上げていくために全力で取り組んでまいりますので、これからの支部活動に、どうぞご期待ください。

最後に、2026年度支部学術大会の日程も決まり、次の大会に向けての準備が始まっています（表1）。来年は、東北支部では山形、中部支部では金沢と、その支部の中心都市とは異なった場所で開催される支部もあり、これまでになく試みや、主要都市ではない地方の会員の掘り起こしなども積極的に行ってまいります。

ご自身が所属しておられる支部はもちろん、他支部の学術大会にもぜひ参加してみてください。また、これまで足が遠のいていた会員の皆様も、今一度、支部学術大会に足を運んでみてください。魅力のあるプログラムを用意してお待ちしております。



支部委員長
須呂 剛士

表1 2026年度 支部学術大会予定表

開催日	支部	会場
10月11日(日)	東北	山形テルサ(山形県山形市)
10月18日(日)	関東甲信越	コンgresクエア日本橋(東京都中央区)
10月25日(日)	北海道	北海道歯科医師会館(北海道札幌市) 予定
11月15日(日)	近畿・中国・四国	オービックホール(大阪府大阪市)
11月29日(日)	九州・沖縄	福岡県歯科医師会館(福岡県福岡市) 予定
12月6日(日)	中部	ホテル金沢(石川県金沢市)

2025 年度 支部学術大会報告

2025年度支部大会を終えて、全支部の支部長より報告や次年度支部学術大会に向けての意気込みをメッセージ動画として、メールマガジンで配信しております。メッセージ動画はホームページでもご覧いただけます。是非、アクセスして下さい！！



HP 動画掲載

左記のQRコードより
アクセスしてください。

北海道支部

テーマ：咬めると食事が楽しくなる！

開催日：2025/10/26

会場：北海道歯科医師会館



支部長：工藤 昌之

今回の北海道支部学術大会は、前支部長の肝入りの企画を引き継いだ形となりました。同日に九州で日本口腔インプラント学会があり、市内では歯科材料店の展示会があり、苦戦が予測される中ではありましたが、結果として前年にはやや劣るが前年並みの参加者を募ることができ、展示企業数も昨年を超え無事盛会に終える事が出来た点においては大きな成果と捉えています。要因としては、支部理事の先生方のご尽力は当然大きく、また名高い講師を招聘したことが、参加者を募ることができた一つのポイントではないかと考えています。もう一つは、今回初めて支部の企画で、支部学術大会の案内ちらしを印刷し、様々なスタディーグループの催事に合わせて募集を募ったところも良かったのかと思います。

大会テーマ、プログラム内容を決めるまで支部役員や担当の先生方とどのような議論をしてきたかや苦労したことなどテーマに関しては、前支部長の肝入り企画という事で、前支部長に一任した形となりました。プログラム内容に関しては、特別依頼講演の講師をまず3名で設定したので、時間配分から残りの時間を会員発表に当てました。時間的に4名の会員発表が可能となり、三位一体を狙って歯科医師2名、歯科衛生士1名、歯科技工士1名という振り分けをしました。

前日の準備に対応できる支部理事が少なく準備に懸念がありましたが、当日はスムーズな進行が出来たと評価しています。進行については、特別依頼講演講師の帰路の飛行機の時間もあり、予定より早めに終了することとなりました。ここは参加者に大変申し訳なく計画段階での配慮に改善の余地を残しました。また他の講師は、飛行機の遅延によって当日中に帰路に辿り着けない結果となりました。受付業務は、事務局や外部委託のサポートもあり大いに助けられたと感じています。ただ以前から疑問視しているのが、受付担当は学術大会を聴講できない、しにくい、できても中途半端というところがあり、受付業務の支部理事には、ボランティア精神で尽力してくださっていることに本当に感謝しかありません。休日返上で参加費を支払い、せっかくの貴重な講演を聴くことができない状況というのは、私も受付業務を数年経験したので同じ思いで悩んでいた時期があったので、この改善を今後も引き続き支部理事と共に考えていきたいと思えます。

参加者の減少は、支部長として頭が痛いところです。できればプラスとなって支部学術大会を終えたいと思えますが、参加者、展示企業の減少を改善できるような打開策を次回大会では講じたいと思えます。皆様ご参加、ご協力いただき心から御礼申し上げます。

報告者：工藤 昌之（北海道支部長）



高松 尚史 先生



木村 貞仁 先生



葛西 紀人 先生



上野 美穂 先生



林 俊介 先生



新井 達哉 先生



林 揚春 先生

東北支部

テーマ：長期予後を見据えた
包括歯科治療の診査と診断

開催日：2025/11/2

会場：宮城県歯科医師会館

大会長である永田一樹(山形県開業), 実行委員長である加藤 浩(宮城県開業)の旗振りの下, 上記日程, 場所にて「長期予後を見据えた包括歯科治療の診査と診断」をテーマに掲げ開催されました。

午前中には会員発表として歯科衛生士1演題, 歯科技工士2演題, 歯科医師3演題, 合計6演題行われました。

午後の歯科医師向け特別講演1では菅野博康先生(宮城県開業)より「咬頭嵌合位の安定を考える」という演題にて咬合の用語からはじまり, 咬頭嵌合位の再現方法についてご講演していただきました。開業57年という長年の臨床経験の積み重ねから得られた多くの知見を沢山の症例とともに解説いただき, 機能の長期維持のためにはチンポイント変法やスプリットキャスト法を用いた正確な咬合診査と安定した咬頭嵌合位を獲得することの重要性を説かれました。長期経過症例がもたらす貴重な知見に触れることができ大きな学びとなりました。

特別講演2では町田真吾先生(東京都開業)より「包括歯科治療における長期予後を見据えた診査と診断ーデジタルとアナログの最適活用ー」という演題にてご講演をいただきました。演者が唱えるデジタルの優位性を「可視化」, 「予測性」, 「効率化」の3つのキーワードにまとめお話しいただきました。フェイススキャンとSTLデータの重ね合わせ, 3Dプリンター, CADソフトを用いることで有効な診査診断を行い, 低侵襲で計画的な治療を効率的に進めることができた3症例について解説いただきました。現時点でデジタルにできないこともあり従来法の診査診断, 治療計画立案が大前提という認識のもと, デジタルの進化にも乗り遅れないよう研鑽を積んでいくことの大切さを実感させていただき講演でした。

歯科衛生士向け特別講演では柿沼八重子歯科衛生士(埼玉県かめだ歯科医院勤務)より「歯を長持ちさせるセメント質に優しい低侵襲SRP」という演題にて, 歯周病を安定させるために歯科衛生士として目指すべきことについて症例を通して解説していただきました。口腔内写真, デンタルエックス線写真, プロービングデプスなど各種診査結果をどのように治療に活かすかについてわかりやすく説明していただきました。同じく柿沼歯科衛生士を講師に歯科衛生士ハンズオンセミナーを実施しました。学んだことをすぐに患者さんに還元できる内容となっており参加者からは好評をいただきました。

報告者：齋藤 太紀 (東北支部)



支部長：永田 一樹



菅野 博康 先生



町田 真吾 先生



齋藤 友里奈 先生



江間 大輔 先生



菅野 雅人 先生



笹間 真理子 先生



関口 静里奈 先生



演者



小村 圭介 先生



柿沼 八重子 先生



関東甲信越支部

テーマ：さあ 歯科臨床の面白い時代が
やってきた！

開催日：2025/10/5

会場：コングレスクエア日本橋



支部長：吉田 拓志



矢野 圭介 先生

杉田 龍士郎 先生



清水 清恵 先生

藤田 由衣奈 先生

昨年、若手に人気の演者に登壇していただいたことで久しぶりに若手の参加者が増えました。今回はそれを踏襲しながらレジェンドの先生にもご登壇していただき、さらにプログラムの厚みを増すように考えました。また、毎年歯科技工士の参加者がかなり少ないため、歯科技工士セッションを作り、歯科技工士の参加者を増やす試みを行いました。

大会テーマやプログラムは実行委員で集まり大きな幹としての方向性を決め、後はWEB上で色々意見を出し合いました。

参加者増も大きな目的ですが、それだけでなく、「参加して勉強になった」「明日からの臨床に役立つ」と思われるプログラム作りを畑中大会長と谷本実行委員長が先導し行いました。

宣伝広告に関して、フェイスブックは私を含め年配者しか見ないので、InstagramやXを用いて新たな参加者を増やす試みを考えました。

事前登録は昨年と比べるとやや少ないぐらいでしたが、当日参加がかなり多かったため、受付が間に合わず開始時間を少し遅らせることになりました。大きな反省点の一つです。

毎年のことですが、部屋の温度が暑い寒いとのクレームがありました。暑いのはどうしようもありませんが、寒いのは上着を持ってきていただければクリアできるため、事前にインフォメーションをしっかりと行わなければいけません。

参加者は昨年度よりも増加し、会場も立ち見が出ない程度に埋まり宣伝広告に協力していただいた実行委員、支部理事の皆様に感謝します。

受付について、来年までは支部長のスタッフが主に受付を担当しているため、当日参加への対応をシミュレーションすることと、受付スタッフの増員も検討しています。

また、事前登録を促す必要があると考え、当日参加は登録に時間がかかるとのインフォメーションをHPやちらしに掲載しようと思います。

来年度は谷本大会長、雨森実行委員長のもと、すでにプログラム委員会が開催され素晴らしい演者に登壇していただけることが決まっています。歯科技工士セッションも継続して、さらなる歯科技工士の参加者を募りたいと思います。

支部長としてのラストイヤーなので、さらに多くの方々に参加いただけるように頑張ります。

報告者：吉田 拓志（関東甲信越支部長）



樺沢 岳芳 先生

安部 貴之 先生



小西 浩介 先生

高瀬 直 先生



奈良 嘉峰 先生

寺尾 豊 先生



神山 大地 先生

上原 芳樹 先生

長谷川 篤史 先生



望月 力 先生

小川 大輔 先生

成 仁鶴 先生

生井 裕紀 先生

田中 雅 先生

久保寺 理人 先生

森井 浩太 先生



山口 千緒里 先生

小宮山 彌太郎 先生

中村 瑛史 先生



中部支部

テーマ：本質を見据えた歯科臨床

開催日：2025/11/9

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋ルーセントタワー

中部支部学術大会では、午前は会員発表を1会場、午後は依頼講演2題を2会場で、というプログラム構成がここ数年の通例となっています。この理由として、午後の講演に関しては、歯周・歯周病部門と補綴・咬合部門とに分け、歯科医師のみならず、歯科技工士や歯科衛生士にも興味を持ってより多く参加していただきたいという意図で会場を2つに分けています。

一方で午前中の会員発表に1会場というのは、演者に参加者全員の前で最高のパフォーマンスしてもらいたいということと、参加者全員で聴講しようという意図があるからです。やはり会員発表あつての学術大会ではないでしょうか。そして演者を偏らせないよう、東海地区、静岡地区、北陸地区と毎年バランスよくラインナップして、それぞれの地域ごとに参加意識と活性化が図れるように取り組んでいることは、中部支部の特徴ではないかと思っています。

今回の大会テーマ「本質を見据えた歯科臨床」は僭越ながら支部長の私が提案させていただきました。新しいアイテムやシステムが日進月歩の勢いで現れ、そして変化していく中で、常に歯科臨床の本質を見失わず傍に置き、その上で必要なものを積極的に取り入れていく姿勢が大切なのではないかと、常々思っていましたので今回テーマとさせていただきました。まずは実行委員長の林尚史先生と事前にタイムスケジュールや講師の選定など話し合っ、て、執行部へ、そして支部理事会へと臨み、承認を得ながら順調に進めていくことができました。

大会当日は、あいにくの天気だったにもかかわらず、127名の参加者となったことは嬉しい限りでした。会員発表は5題ありましたが、そのうち3題は「歯牙移植」と同じテーマで、合わせてディスカッションという形式をとったことで、なお盛り上がった気がします。また依頼講演におきましても、今回のテーマに最適な講師を招聘できたのではないかと自負しています。

昨今、大会の会場確保が難しく、3年連続別会場での開催となってしまいましたので、運営にあたり不慣れな部分もいくつか出てしまいました。今後は“お馴染み”の会場を見つけ出すことが目下の課題だと考えています。来年の支部学術大会は、名古屋圏から離れ、初めて北陸金沢のホテル金沢で開催されることと決定しています。また会場が変わりますが、ここは北陸地区認定教育研修会で常に使用してもらって使い慣れた会場ですので、問題はないと安心しています。次のテーマは「歯科臨床はチーム医療(案)」として、会員発表でコラボ企画など、現在新しい試みを思案中です。ぜひご期待ください！

報告者：川上 清志 (中部支部長)



支部長：川上 清志



熊谷 真一 先生



築山 鉄平 先生



白石 大祐 先生

篠島 一将 先生

田中 亮次 先生



藤井 元宏 先生

田中 翔 先生

阿部 公成 先生



三輪田 衛 先生



漢本 瑠美 先生

近畿・中国・四国支部

テーマ：ニチガク行こうぜ！
～臨床の本質を探る～

開催日：2025/10/5

会場：オービックホール



支部長：宇根岡 大典

今回は学会大会のテーマを「ニチガク行こうぜ！ 臨床の本質を探る」としました。そもそもニチガクってどんな学会って聞かれた時に顎咬合学という、言葉の定義づけを行うことも大事ですが、それよりも仲間や、スタッフと共に気軽に「ニチガク行こうぜ」と言葉をかけ合いながら、共に学ぶことがこの学会の本質と考え、「学会大会に参加したら診療が変わった」、「楽しかった」というようなプログラムを提供できるようにしました。

早期の段階で演者や会員発表者が決定したので、開催日が10月5日と例年に比べ早かった割にスムーズに準備が行えました。一方、プログラムの内容を充実させるために、歯科技工士単独でのプログラムとランチョンセミナーを準備しましたが、運営上での時間の配分の調整がタイトになってしまいました。来年度以降のさらなるプログラムの拡充のための良い経験ととらえ、今後活かしていければと考えています。

午前中5名の会員発表と歯科衛生士向けのプログラムとして林美穂先生と歯科衛生士の藤本和泉さん、午後から高垣智博先生と歯科技工士向けのプログラムで歯科技工士の藤本光治さんにそれぞれ講演していただきました。

会員発表は来年の若手登竜門の選考も兼ねており、それぞれ非常にレベルの高いフルマウスのケースで甲乙つけ難いものでしたが、今回は前沢宙先生が近畿・中国・四国支部の代表に決定しました。

林美穂先生と藤本和泉さんの講演は私のクリニックのスタッフも聴講させていただきましたが、長期症例を通して患者さんとの向き合い方や、診療に臨む姿勢等、とても勉強になったと喜んでいました。

高垣智博先生の講演は、日々の接着についてわかりやすく整理されたお話しで、ジルコニアくつつく、くつつかない論争に終止符を打つ内容で他支部でもぜひお話ししていただきたい内容でした。

また、藤本光治先生からはサブジンジバルカントゥアーの形態とティッシュサポート、またその形態をいかに診療室とラボサイドで連携するか等について講演いただきました。

どのプログラムも非常に学びの深い講演内容で聴講されていた方々も皆さん真剣な眼差しでメモをとっていた姿が印象的でした。

2026年度の支部学会大会の日程は11月15日に決定しています。今年度以上に盛り上がるように大会長をはじめ支部一丸となって運営できればと思っています。

近畿・中国・四国支部長 宇根岡 大典



高垣 智博 先生



藤本 光治 先生



木村 英訓 先生



西田 耕介 先生



仮屋 隼一 先生



尾崎 大祥 先生



前沢 宙 先生



林 美穂 先生



藤本 和泉 先生

九州・沖縄支部

テーマ：今、求められる歯科医療 2025

開催日：2025/11/30

会場：福岡県歯科医師会館

今回の九州・沖縄支部学術大会では、九州で活躍されている歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士にスポットを当てて演者を選出し、九州・沖縄の歯科医療関係者の医療レベルの高さを再認識、そしてそれを周知することを意識しました。また、支部会員からなるべく多く登壇して頂くことで、支部内の活性化を考えて行いました。

現在の歯科医療には多様性が求められていることを日々感じているため、プログラム内容も多様にするのを心がけ、多くの方にとって興味深い1日となるよう考えました。開催に向けて支部会員16名による準備委員会を立ち上げ準備しました。ただ、それぞれのメンバーが仕事や歯科医師会、スタディーグループでの活動も抱えているため非常に多忙であり、頻繁にWEB会議を行うことは難しく、行う場合も全員が揃うことは困難であったため苦労しました。そのため今年はその点を補うためにLineグループを活用することにしました。WEB会議に比べ、LINEを用いることでリアルタイムの情報や意見の交換をすることができ、遅延のない報連相を行いながら準備を進めることができました。

当日も実行委員LINEグループ内でやり取りを行いながら進行了。そのため人手が足りない部屋や、足りない物などがあればリアルタイムで伝えることができ、持ち場を離れることができないメンバーでも状況を把握することができ、大きな問題なく終えることができました。

幸いなことに今回の九州・沖縄支部学術大会も参加した方々からは非常に好評を得ることができました。しかし、支部の会員数からすると参加者はまだまだ少なく、もっと多くの方に参加して頂けるように大会内容やテーマを検討したいと思います。また、歯科技工士・歯科衛生士会員数の増加を目指すべく、各職種にとって魅力的な内容となるよう理事会や準備委員会が一丸となって次回大会への準備を進めたいと思います。

九州・沖縄支部長 鈴木 宏樹



支部長：鈴木 宏樹



渡邊 祐康 先生



大串 奈津貴 先生



平井 友成 先生



松村 香織 先生

柴原 由美子 先生



中尾 祐 先生



梶川 聖太 先生



今橋 和宏 先生



中島 圭治 先生



廣末 将士 先生



吉村 聡美 先生



吉岡 和彦 先生



古賀 智也 先生



中原 浩介 先生



中野 進也 先生

日本顎咬合学会の国外に向けた「第二の論文誌」 “Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”

従来より日本顎咬合学会は日本国内の歯科医師が最も多く所属する学会として活発な活動を展開してきました。そして学会が発行する本誌「咬み合わせの科学」においても多数の優秀な論文が掲載されてきました。今後、さらに学会が発展していくためには、会員の国際的な発表の場が必要と考えられます。

しかし、国際論文への投稿や国際学会での発表については語学の問題などがあり、少々敷居が高く感じるかもしれません。今回、当学会と提携することになった International Academy of Contemporary Dentistry (以下 iACD) では、2020 年からオンラインジャーナルである“Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”を年に2回発行していますが、この専門誌は英文のみならず、日本語、スペイン語、中国語にも翻訳され複数言語で公開される世界初のジャーナルです。

そして、iACD との提携事業の中で、日本顎咬合学会会員の投稿論文年間2編の査読、翻訳、掲載が、投稿者の金銭的な負担なしに行われることが決定しました。いわば日本顎咬合学会の「第二の論文誌」とも言える位置づけとなります。内容は主に原著論文ですが症例報告や総説も、今後受け付ける準備があるとのことなので、国際論文として発表できるクオリティの論文を是非とも投稿していただきたいと思います。

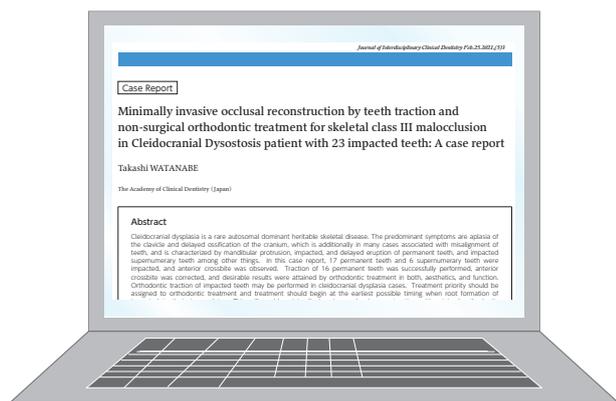
このジャーナルへの投稿の窓口は編集委員会となりますので、当面はこちらで審査をした後に投稿という形になりますが、ご興味のある方は是非ご連絡ください。

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会
編集委員会 委員長 関野 愉



日本顎咬合学会の国外に向けた「第二の論文誌」 “Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”

簡単な登録で、日本語を含めた4カ国語（英語、中国語、スペイン語）に翻訳された論文を閲覧できます。



日本顎咬合学会員からの最初の投稿論文となった渡辺隆史先生（第12代理事長）論文「23本の埋伏歯を伴う骨格性Ⅲ級の鎖骨頭蓋異骨症患者に対して、歯の牽引と非外科的矯正治療により低侵襲な咬合再建を行った一例」が、Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry Vol 2 No1 (2021) に掲載されました。

Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry の論文閲覧について

Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry に掲載の論文を閲覧するには登録が必要です。学会ホームページの【発行物】→【国外に向けた「第二の論文誌」】と進み、【登録画面はこちら】より Register ページへアクセスし、Profile と Login (e-mail と password) の登録を行ってください。

▼ 登録ページアドレス・QRコード ▼

<https://jjcd-journal.com/Forms/Register>



< お問い合わせ >

メディアセンター Email : kimura@ago.ac

一般社団法人日本歯科専門医機構認定

補綴歯科専門医について

2023年5月24日に一般社団法人日本歯科専門医機構で、特定非営利活動法人日本顎咬合学会と公益社団法人日本補綴歯科学会が共同で運用する「補綴歯科専門医」が認定されました。これにより本学会の会員は、広告可能な専門医資格である「補綴歯科専門医」の資格を取得することができるようになりました。「補綴歯科専門医」を取得するためには、以下の条件をクリアする必要があります。

- 1 研修機関（大学）の研修歴5年以上
- 2 規定研修単位※の取得
※ 研修単位は、日本顎咬合学会や日本補綴歯科学会の学術大会や研修会への参加、両学会での発表や論文投稿、共通研修の履修などで取得できます。
- 3 補綴歯科専門医筆記試験の合格
- 4 学術大会での症例報告（ケースプレゼンテーション）、口頭試問
- 5 学会誌への論文投稿

これらの5つの条件をクリアし、両学会が運用する委員会での審査と日本歯科専門医機構の運用審査を経て、「補綴歯科専門医」の資格を取得することができます。

補綴歯科専門医制度については、日本顎咬合学会のホームページでご確認いただけます



公益社団法人日本補綴歯科学会



一般社団法人日本歯科専門医機構

Informations

2025年度 認定医教育研修会 **【WEB開催】****「咬合挙上における注意点」**

— 何を基準に挙上量を決定したら良いのか? —

講師 渡辺 隆史 先生 (福島県開業)**配信期間** 2026年1月26日(月) ~ 2月1日(日)**申込締切**: 1月12日(月)

詳細はホームページにてご確認ください。

WEB 会員システムに関する大切なお知らせ

2022年より新しい会員システムを導入しました。今後は、住所・連絡先などの登録情報の確認・修正、認定資格・単位取得状況確認だけでなく、**学術大会等の研修会の申込をweb上のマイページにて行っていただけます。**大会の参加登録にはマイページへのログインが必要となります。必ず一度ログインし、情報の更新にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。



QRコードから会員ログインページにアクセスが可能です。

「ホームページ閲覧数を増やすための継続可能なコンテンツ作成」

アンケートにご協力下さい

現在、会員向けホームページは、主に学術大会や支部大会などの参加申込や問い合わせ、諸手続などとなっており、定期的に関覧することはないと考えます。そこで広報委員会では頻りにホームページを訪れていただくため、コンテンツ(文章、画像、動画など)を定期的にアップしていきたいと考えています。どんなコンテンツが良いかご意見をいただければと思います。

**入力フォーム**左記のQRコードより
ご入力ください。表紙絵 小林 真理江
Kobayashi Marie小林真理江ホームページ
<https://kobayashimarie.com/>

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 News Letter 97

発行日: 2025年12月25日

発行者: 金沢紘史

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門パレス201

TEL: 03-6683-2069 FAX: 03-6691-0261 E-mail: nichigaku@ago.ac